

# 御代田町つながりサポート事業【御代田町】

## 地域の実情と課題

新型コロナウイルスの感染拡大等に影響を受けた雇用状況の悪化や、これに起因する貧困や孤立などの課題を抱えた女性の増加の課題がある。

## 事業の特徴

- ①組織・体制の整備 社会福祉士の資格を有する女性を雇用しアウトリーチ主体の組織・体制を整備した。
- ②アウトリーチ 様々な課題・困難を抱える女性を把握し、支援の輪へとつなげた。
- ③啓発機会の開催 災害や虐待などに関する講演会により女性の社会参加や困難を抱える女性への支援などの意識の醸成を図った。
- ④女性活躍サイト 専用ホームページを開設し、地域で活躍する女性や、「えるぼし認定」を受けて、事業活動を通して女性活躍を推進する町内企業などを紹介することで、女性活躍の意識の醸成を図った。
- ⑤生理用品の配布 日ごろ支援にたどり着けない女性を把握し、あらゆる方法で支援の輪につなげていくことを目的に、生理用品の配布を実施した。
- ⑥居場所づくり 専門相談員による支援・ピアサポートのための居場所として「つながりサポートルーム」を整備し、相談支援や社会復帰のための支援を実施した。

## 事業の効果

アウトリーチや生理用品の配布をきっかけに「つながりサポートルーム」を利用するようになった長年引きこもり状態であった女性から「他者と話せるようになり精神的安定につながっている。」との声をいただいている。また、その家族からも外出の機会が持てるようになったことを喜んでいただいている。生理用品配布は、新たな対象者に対してのアプローチ段階で相手の警戒心や不安感の軽減し、更に他者と話を始めるためのツールとして有効に機能した。

## 目的・目標

新型コロナウイルスの感染拡大等により、様々な困難や課題に直面する女性を支援することを目的に実施した。

(1)事業目標「アウトリーチを主体とした相談件数」の目標値は300件だったが、実績は250件であった。この要因としては、事業開始当初のアウトリーチや生理用品の配布による困難を抱えた女性の把握や事業の周知に一定の時間を要したことによる。また、(2)事業KPI「講演会参加者数」の目標値は250人だったが、実績値は102人だった。要因としては、1回目の講演会では、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を目的とした入場制限を実施したことと、2回目の講演会では、録画によるオンライン放映としたことによる。いずれの目標値も達成はできなかったが、8月に10件だった相談件数が10月には27件、3月には43件と着実に増加しており、事業の継続的实施により着実に効果が出てきていると評価している。

## 連携団体

- ・御代田町社会福祉協議会
- ・長野県
- ・長野労働局

## 今後の課題

本事業の実施により、町内で困難や不安を抱える女性を把握し、新たに整備した居場所や支援体制へと誘導することができた。また、町内で活躍する女性を女性活躍サイトで紹介するなど、女性活躍推進の意識醸成につながった。しかし、これらの取組みは短期間にその目的を達成できるものではなく、今回把握した困難を抱える女性への継続的な支援や新たな把握に引き続き取り組む必要がある。

# 事業の概要

## 女性に寄り添い支える

<各種機関との連携>  
課題解決に向けた連携と支援



<サポートルーム>  
こころの  
拠りどころとし  
ての居場所支援



<話を聞く>  
電話・面談・  
訪問による  
相談対応

<支援ニーズの把握>  
生理用品の  
配布



様々な  
問題により  
不安・孤独を  
抱えている女  
性

町民を対象に  
した  
女性講演会



地域女性の  
作品の  
企画展示



女性活躍サイ  
トの  
開設・運用



女性活躍社会の実現に向けた相互理解・協働の推進